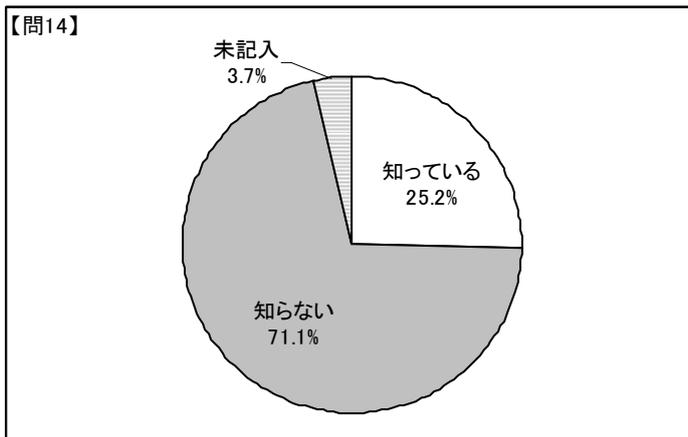


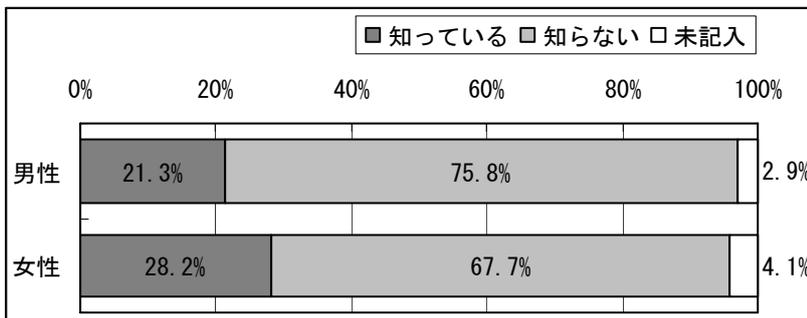
## 2. 男女共同参画に関する意識について

問14 あなたは、和光市男女共同参画推進条例を知っていますか。

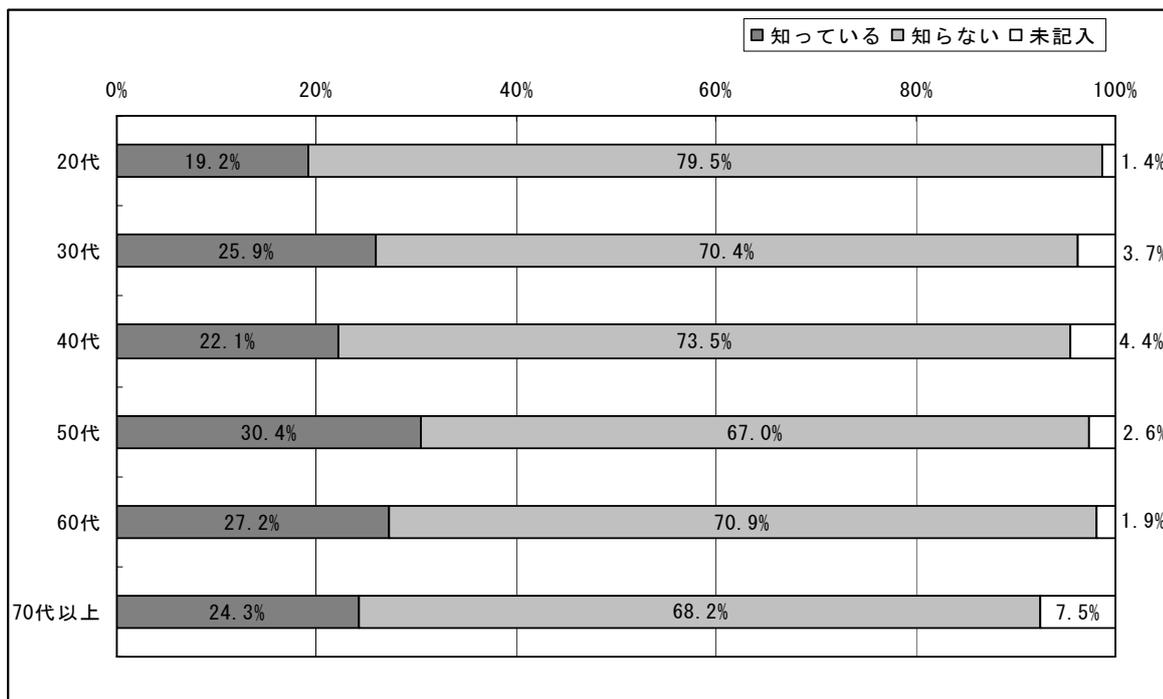
- 71.1%の回答者が「知らない」と答えている。
- 男女別では、女性の認知度が男性よりもやや高い。
- 年代別では、50代の認知度が高く、20代の認知度が低くなっている。



問14	選択数	%
知っている	170	25.2%
知らない	479	71.1%
未記入	25	3.7%
合計選択数	674	100.0%

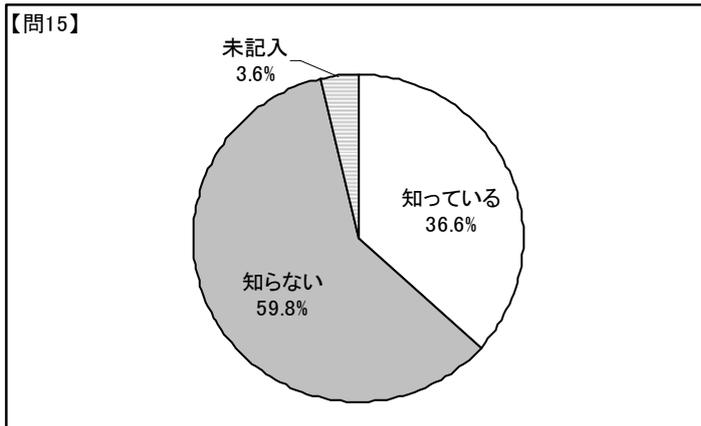


問14(男女別)	男性	女性	未記入
知っている	59	111	0
知らない	210	266	3
未記入	8	16	1
合計選択数	277	393	4

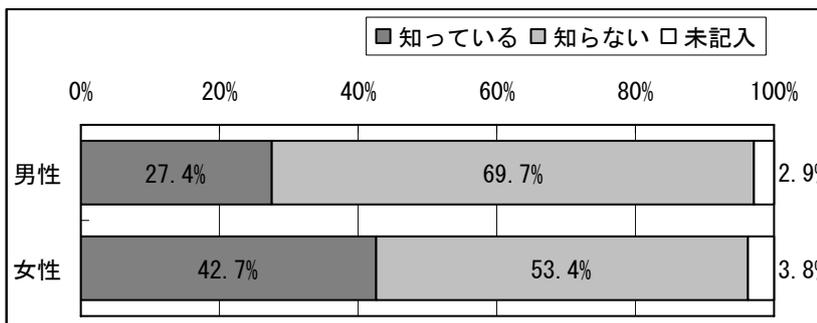


問15 和光市では、子育てや家族に関する悩み、DV、職場でのセクハラ・嫌がらせなどに関する女性のための相談窓口を設けています。あなたは、このことをご存知でしたか。

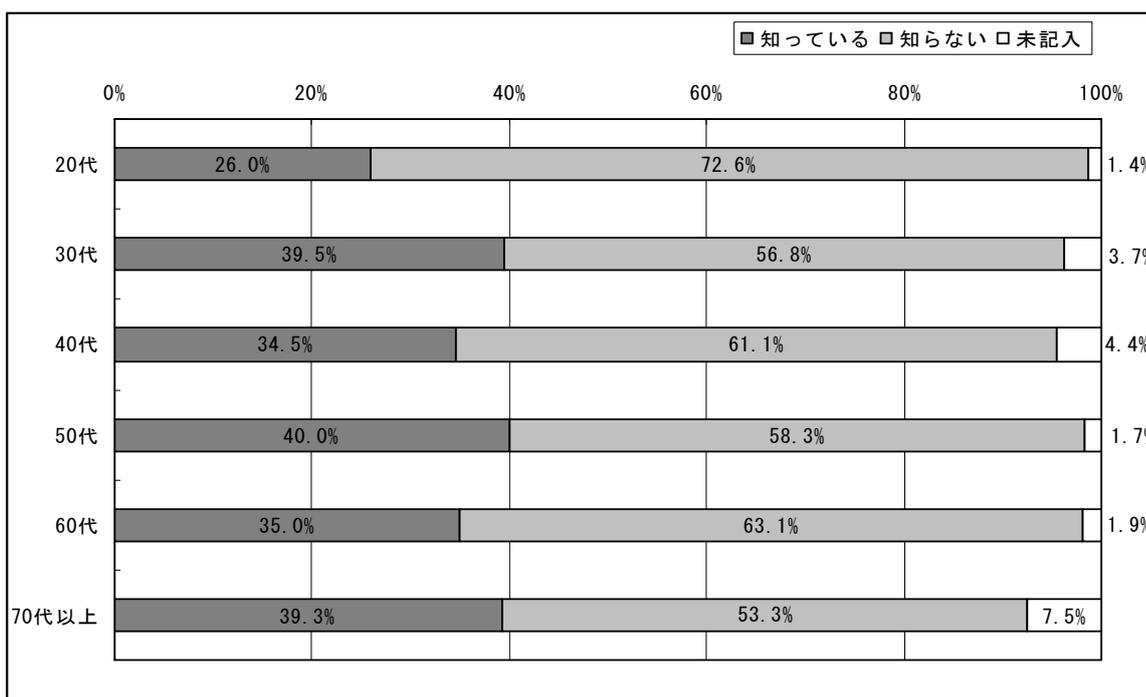
- 相談窓口について、「知らない」人（59.8%）が半数以上を占め、「知っている」人（36.6%）を大きく上回っている。
- 男女別では、女性の認知度が男性よりも高い。
- 年代別では、50代の認知度が高く、20代の認知度が低いという男女共同参画推進条例の認知度と同じ傾向となっている。



問15	選択数	%
知っている	247	36.6%
知らない	403	59.8%
未記入	24	3.6%
合計選択数	674	100.0%

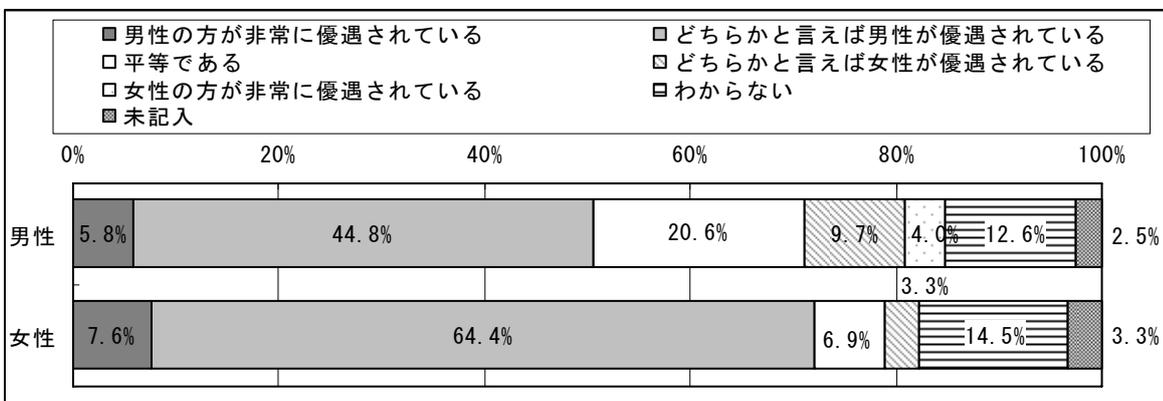
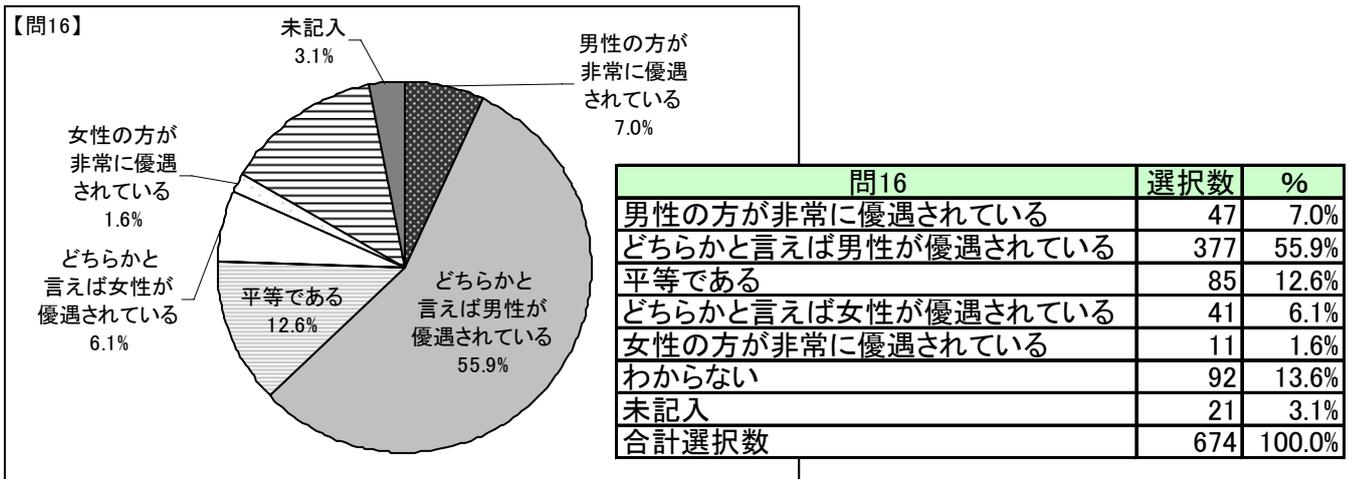


問15(男女別)	男性	女性	未記入
知っている	76	168	3
知らない	193	210	0
未記入	8	15	1
合計選択数	277	393	4



問16 社会全体の中で、男女の地位は平等になっていると思いますか。(〇印は1つ)

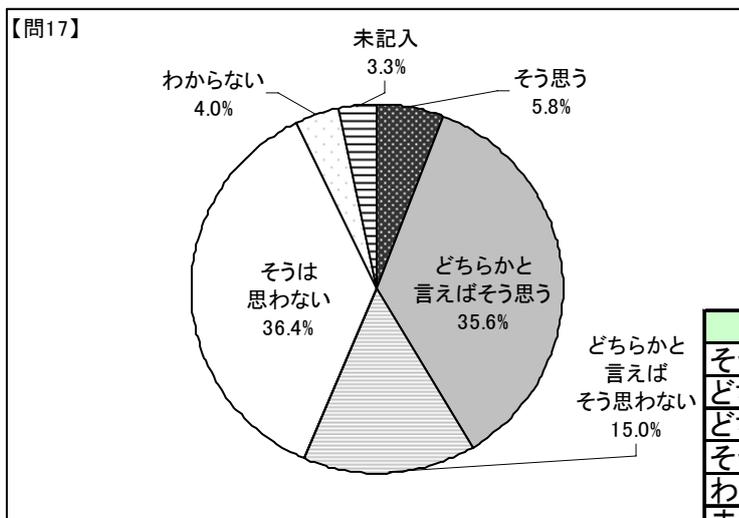
- 「平等である」と回答した人は全体の12.6%となっている。
- 「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかと言えば男性が優遇されている」をあわせると、62.9%になる。
- 男女別では、「平等である」と回答した女性の割合は、男性の3分の1であり、平等感はかなり低い。



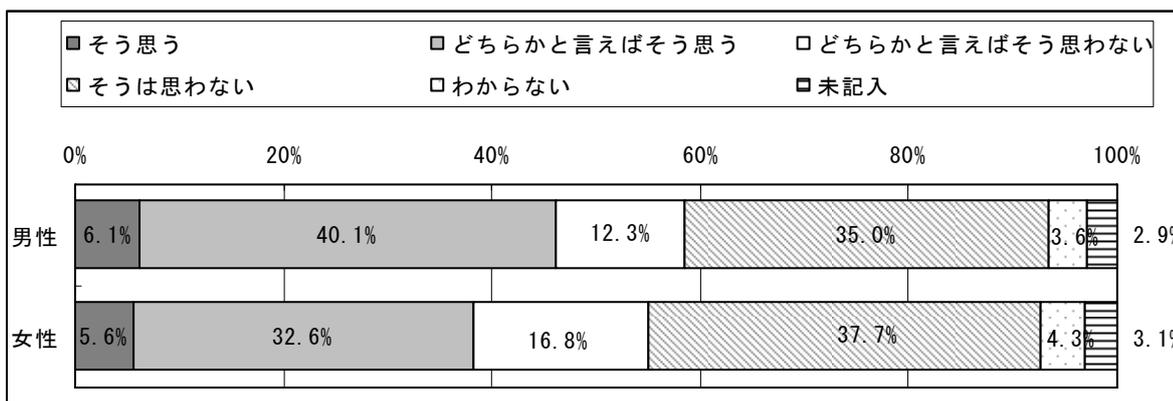
問16(男女別)	男性	女性	未記入
男性の方が非常に優遇されている	16	30	1
どちらかと言えば男性が優遇されている	124	253	0
平等である	57	27	1
どちらかと言えば女性が優遇されている	27	13	1
女性の方が非常に優遇されている	11	0	0
わからない	35	57	0
未記入	7	13	1
合計選択数	277	393	4

問17 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方がありますが、あなたはこの考えかたについてどう思いますか。  
(○印は1つ)

- 「そうは思わない」人は36.4%であるのに対し、「そう思う」人は5.8%と少ない。
- 「そうは思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」をあわせると51.4%となり、「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」をあわせた41.4%を上回る。
- 男女別では、「男性は仕事、女性は家庭」の考え方を否定する割合は、女性が過半数を超えている(54.5%)のに対し、男性は47.3%となっている。



問17	選択数	%
そう思う	39	5.8%
どちらかと言えばそう思う	240	35.6%
どちらかと言えばそう思わない	101	15.0%
そうは思わない	245	36.4%
わからない	27	4.0%
未記入	22	3.3%
合計選択数	674	100.0%

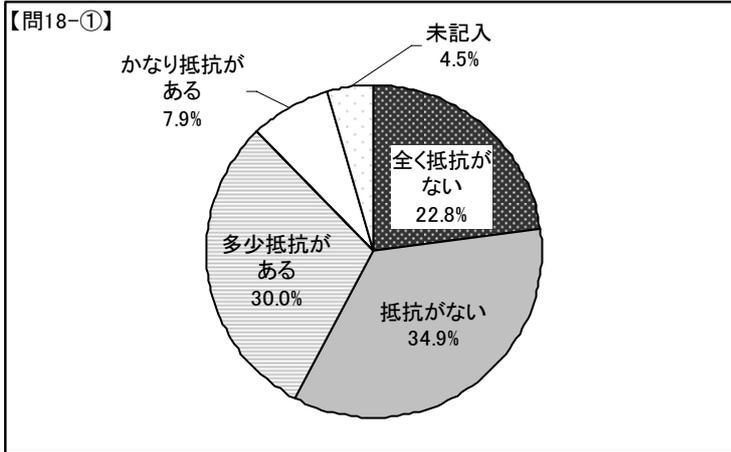


問17(男女別)	男性	女性	未記入
そう思う	17	22	0
どちらかと言えばそう思う	111	128	1
どちらかと言えばそう思わない	34	66	1
そうは思わない	97	148	0
わからない	10	17	0
未記入	8	12	2
合計選択数	277	393	4

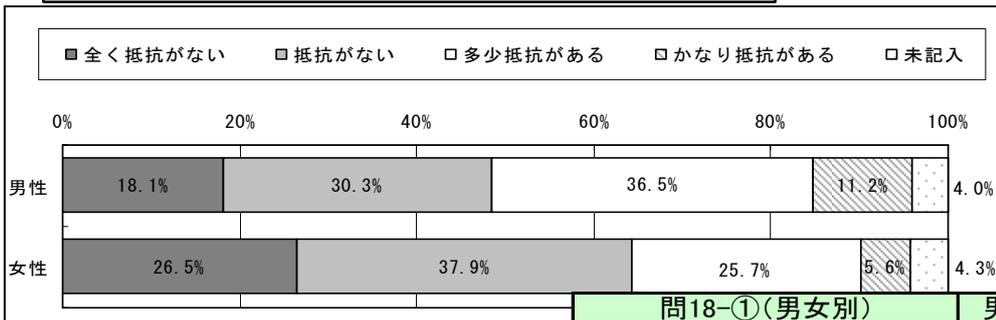
問18 育児休業は男女ともに利用できる制度ですが、あなたのまわりの人がこの制度を利用することについて、あなたはどのように思いますか。(〇印は1つ)

①男性が育児休業をとることについて

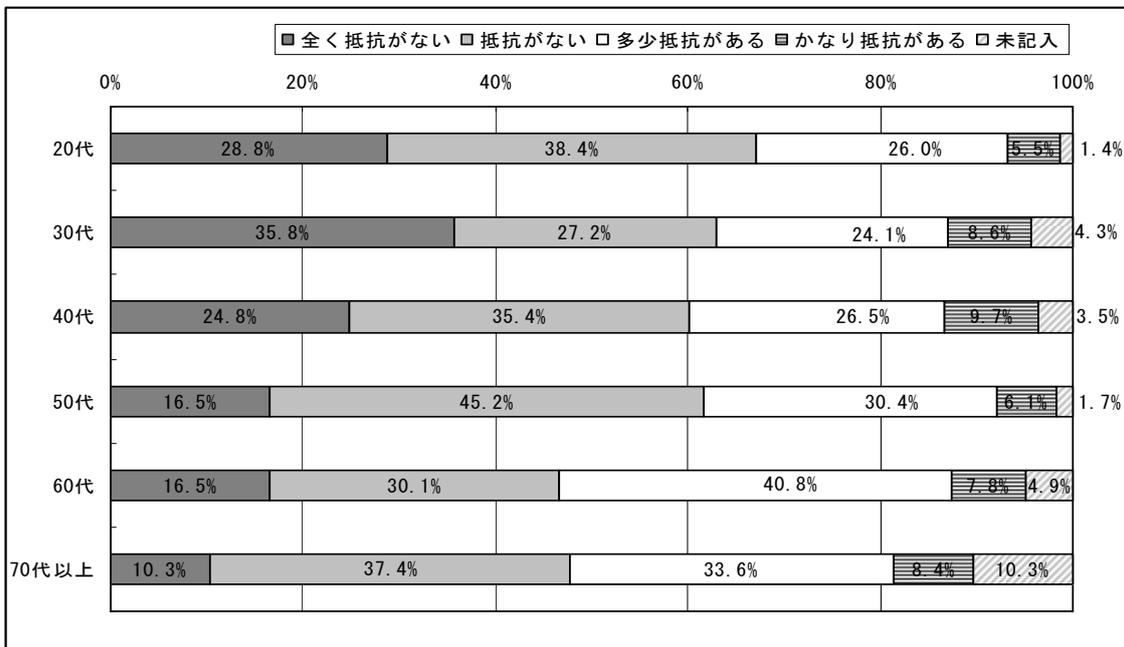
- 「全く抵抗がない」と「抵抗がない」をあわせると57.7%である。
- 「多少抵抗がある」と「かなり抵抗がある」をあわせると37.9%である。
- 男女別では、女性よりも男性の抵抗感のほうが強いことがわかる。
- 年代別では、年代が若いほど抵抗感が少ない傾向となっている。



問18-①	選択数	%
全く抵抗がない	154	22.8%
抵抗がない	235	34.9%
多少抵抗がある	202	30.0%
かなり抵抗がある	53	7.9%
未記入	30	4.5%
合計選択数	674	100.0%

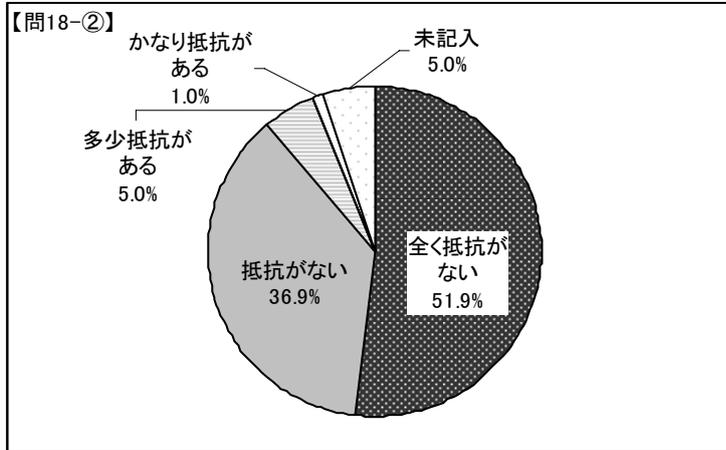


問18-①(男女別)	男性	女性	未記入
全く抵抗がない	50	104	0
抵抗がない	84	149	2
多少抵抗がある	101	101	0
かなり抵抗がある	31	22	0
未記入	11	17	2
合計選択数	277	393	4

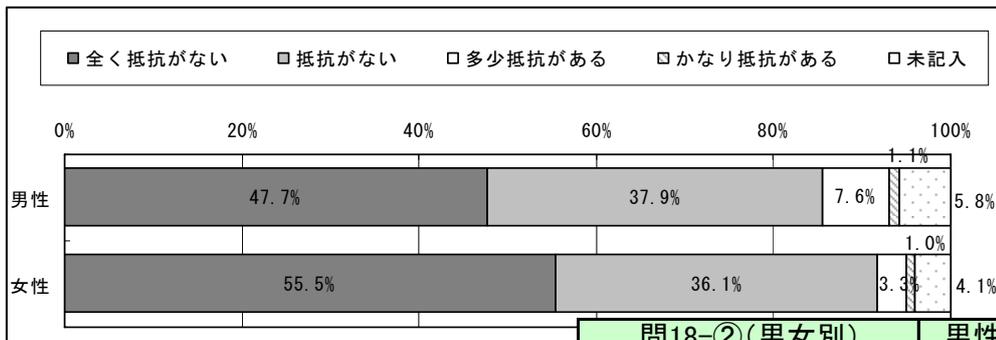


②女性が育児休業をとることについて

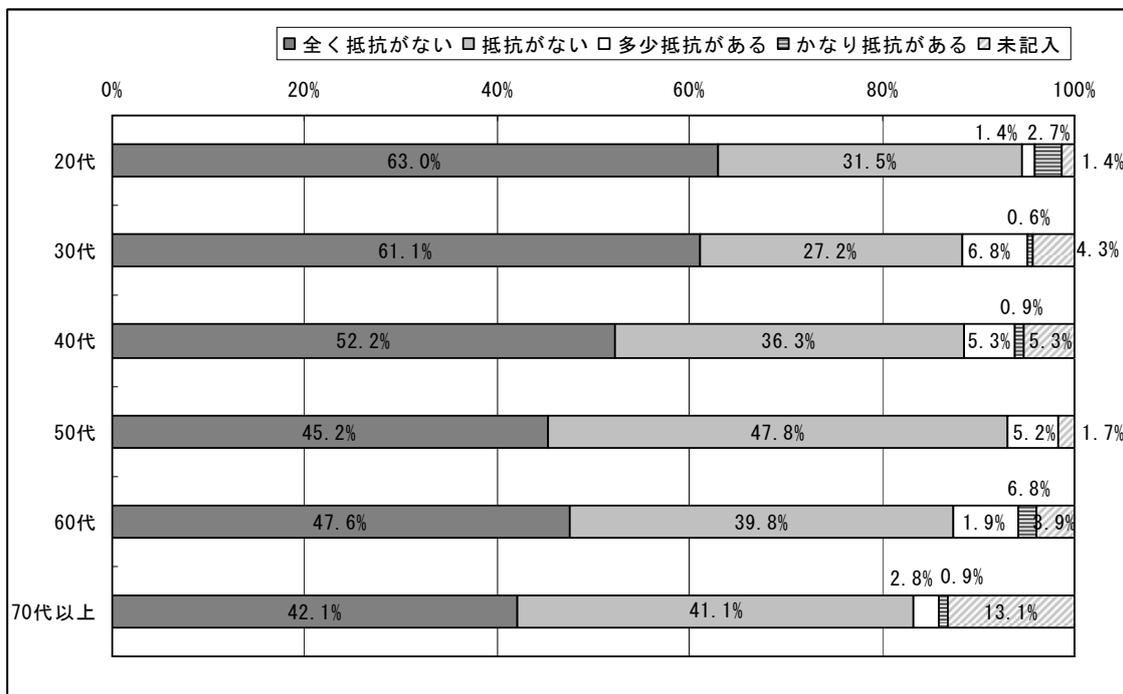
- 「全く抵抗がない」人が（51.9%）過半数を占め、「抵抗がない」をあわせると88.8%になる。
- 男女別では、女性のほうがやや抵抗感が少なくなっている。
- 「①男性が育児休暇をとること」と同様に、年代が若いほど抵抗感が少ない傾向となっている。



問18-②	選択数	%
全く抵抗がない	350	51.9%
抵抗がない	249	36.9%
多少抵抗がある	34	5.0%
かなり抵抗がある	7	1.0%
未記入	34	5.0%
合計選択数	674	100.0%

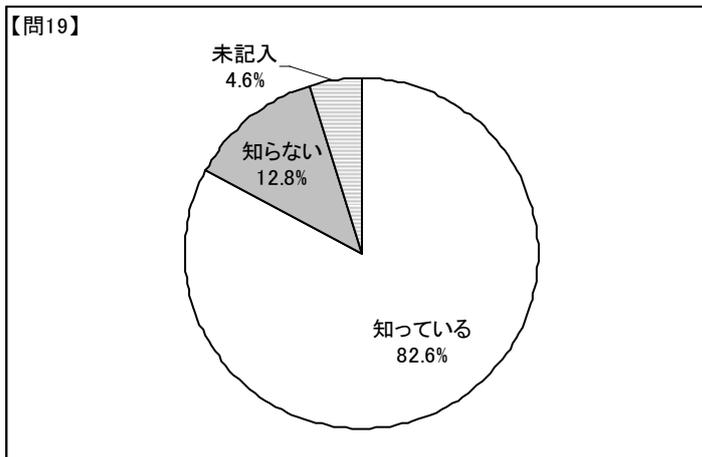


問18-②(男女別)	男性	女性	未記入
全く抵抗がない	132	218	0
抵抗がない	105	142	2
多少抵抗がある	21	13	0
かなり抵抗がある	3	4	0
未記入	16	16	2
合計選択数	277	393	4

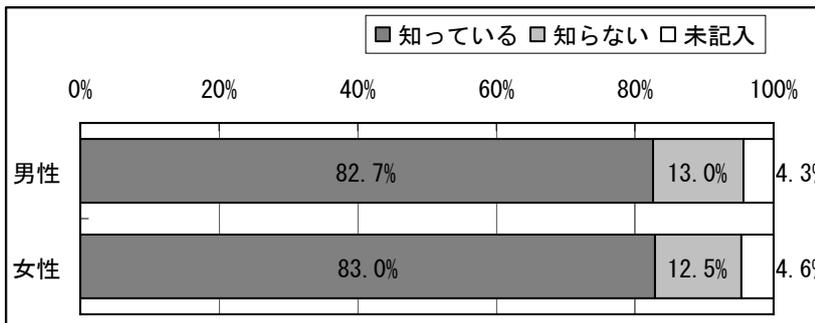


問19 あなたは、性感染症の予防方法についてご存知ですか。

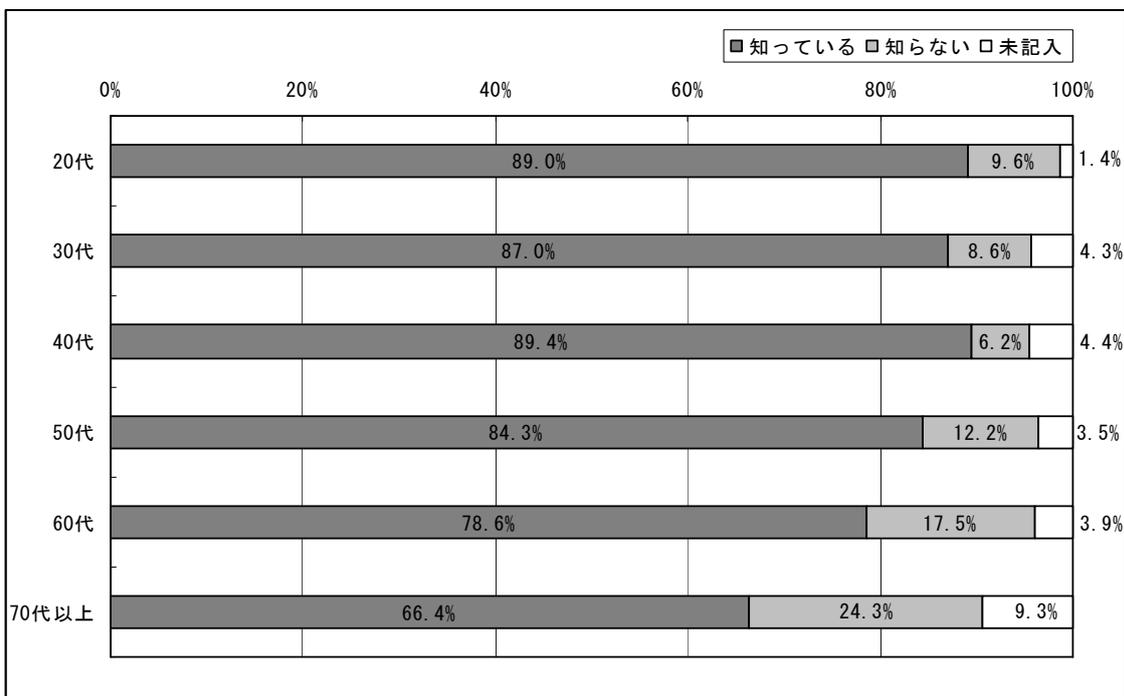
- 「知っている」人は82.6%となっている。
- 「知らない」人は12.8%となっている。
- 男女別の大きな違いは見られない。
- 若い年代ほど認知度は高い。



問19	選択数	%
知っている	557	82.6%
知らない	86	12.8%
未記入	31	4.6%
合計選択数	674	100.0%

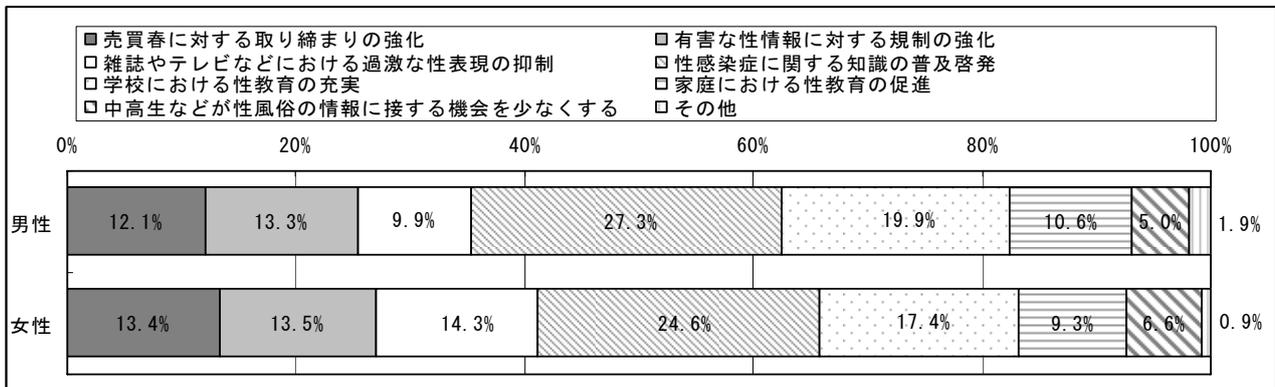
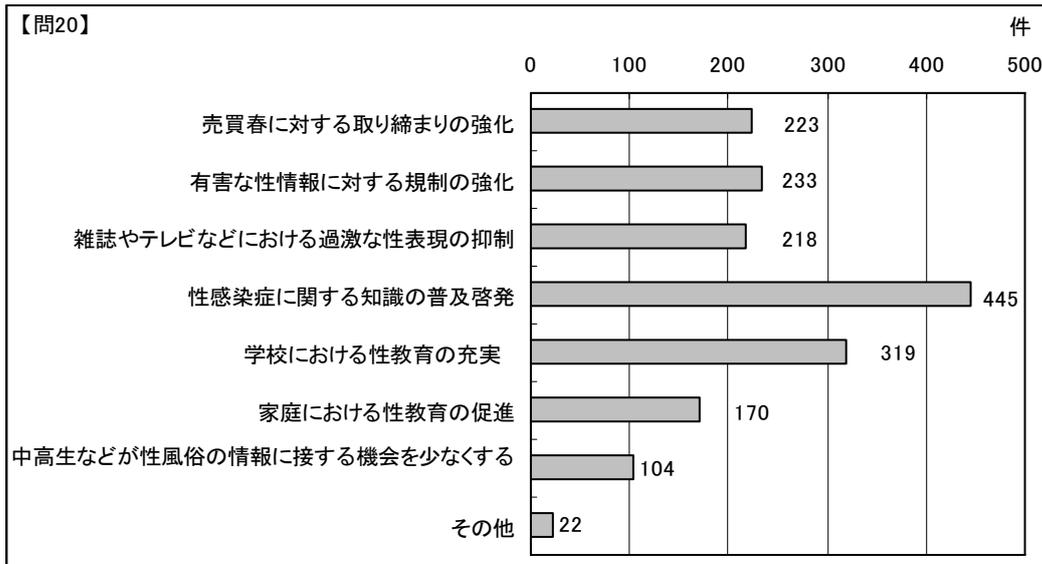


問19(男女別)	男性	女性	未記入
知っている	229	326	2
知らない	36	49	1
未記入	12	18	1
合計選択数	277	393	4



問20 若い世代の間でHIVなど性感染症の蔓延が心配されています。あなたは、性感染症を防ぐために、どのような対策が必要だと思いますか。(〇印は3つまで)

- 「性感染症に関する知識の普及啓発」が445件と最も多い。
- 次いで、「学校における性教育の充実」(319件)、「有害な性情報に対する規制の強化」(233件)、「売買春に対する取り締まりの強化」(223件)が多くなっている。
- 男女別での大きな傾向の違いは見られないが、「雑誌やテレビなどにおける過激な性表現の抑制」の割合が女性のほうがやや多くなっている。



問20(男女別)	男性	女性	未記入
売買春に対する取り締まりの強化	82	141	0
有害な性情報に対する規制の強化	90	142	1
雑誌やテレビなどにおける過激な性表現の抑制	67	150	1
性感染症に関する知識の普及啓発	185	259	1
学校における性教育の充実	135	183	1
家庭における性教育の促進	72	98	0
中高生などが性風俗の情報に接する機会を少なくする	34	69	1
その他	13	9	0